文部科学省情報ひろば
サイエンスカフェ

参加費無料
定員30名
事前申込制

情報の鮮度 × IoT

～リアルタイムとは？～

インターネットでのリアルタイム動画配信などが活発な昨今ですが、次世代の通信方式である**5Gサービス**が2020年春頃から提供され始め、今後より多くのモノがインターネットに接続(**IoT：Internet of Things**)されていきます。特に、高速かつ低遅延なネットワークにより実現される、**リアルタイム性の高さ**が期待されています。

ここで重要となるのが「今、目にしているデータ」は、実は「少し前に生成されたデータ」であるという観点です。

IoTカメラで「リアルタイム撮影された猫」(右図)は、いつの猫なのでしょう？本当は今そこにいなかったとしたら、猫に何かしてあげることもできませんよね。これを考える指標として近年、「**情報の鮮度**」を表す値が検討されていますが、その使い方についての研究は、未だ始まったばかりです。

IoTにおける「情報の鮮度」について、研究者と一緒に考えてみませんか？

講師

なかやま　ゆう
中山 悠

東京農工大学
工学研究院
准教授

ファシリテーター

はら　ゆうこ
原 祐子

東京工業大学
工学院情報通信系
准教授

2019年9月20日(金) 19:00 - 20:30
(18:30 - 開場)
文部科学省情報ひろばラウンジ

銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結
千代田線「霞ケ関駅」A13番出口 徒歩5分

本イベントは、サイエンスアゴラの連携企画の一環として開催します

主催　文部科学省
共催　科学技術振興機構（JST）

サイエンスカフェって？

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の方々が飲み物を片手に気軽に科学などの話題について自由に語り合うコミュニケーションの場です。
「科学の話なんて難しそう…」「興味はあるけど緊張するな…」と思った方も大丈夫！専門家がわかりやすく最先端の科学の世界を紹介します！

中山さん、原さんはこんな人！

講師　**中山 悠さん**

大学卒業後、企業での10年ほどの勤務を経て、今年度から東京農工大学で次世代ネットワークとアプリケーションについて研究しています。もともと農学部出身なのもあり、技術自体というより、それを上手に活用するための仕組みが気になります。そして情報系の技術の内容がよくわからない、という気持ちが（たぶん）よく分かります。
好きなものは早起きとフットサルと旅行とお城／庭園巡りとBUMP OF CHICKEN。弱点は乗り物酔いなので、海外出張のときは緊張します。

ファシリテーター　**原 祐子さん**

東京工業大学で、私たちの生活を支えてくれる組込みシステムと呼ばれるコンピュータの仕組みや設計方法を研究しています。特に、組込みシステムがシンプルに（仕事量や難易度を下げて）満足なクオリティを提供する方法を考えています。学生時代はバックパッカーになって海外を、今は一眼レフを片手に日本の山岳地帯を一人で歩き回っています。乾燥肌で指紋スキャンできず、アメリカ入国時に別室送りになったことがあります。
中山先生とは、研究プロジェクトの懇親会で隣の席になったことをきっかけに「早起き」「旅行」の共通キーワードと、研究の価値観が似ていることが分かり意気投合しました。

申込方法

右記のフォーマットで、事前にメールでお申込ください。定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

Email
［宛先］sciencecafe@ifys.jp
［件名］9/20サイエンスカフェ参加希望

氏名：
所属：
（以下はありましたらお書きください）
講師に聞きたいこと：

＼参加をお待ちしています！／

今後の開催日時（予定）
（テーマは決まり次第、科学技術週間ホームページ上でお知らせいたします）

第4回：2019年10月18日（金）19:00～20:30	**第5回：**2020年1月17日（金）19:00～20:30

次回のサイエンスカフェは奇数月ではなく10月に開催いたしますのでご注意ください。